

# 令和4年度 第1回 伊東分校学校運営協議会（報告）

静岡県立東部特別支援学校伊東分校

## 【出席者】

- <運営協議会員> 伊東分校ゲストティーチャー  
伊東市立さくら園園長  
湯の花共栄会役員  
伊東市立西小学校PTA母親副会長  
東部特別支援学校伊東分校PTA会長
- <学 校> 副校長、小学部主事、中学部主事

## 【日 程】令和4年6月9日（木） 於 伊東市立西小学校第1会議室

- 1 副校長挨拶 9:30
- 2 学校運営協議会会員委嘱伝達及び自己紹介
- 3 校内参観 小低→ 小高 →中 9:45
- 4 伊東分校の学校経営計画と取組について 10:20
  - (1) 伊東分校の概要説明（副校長）
    - ア 特別支援教育と県内の特別支援学校 ⇒「静岡県の特別支援教育」参照  
○県内の特別支援学校の配置および校種について  
○分校の配置について
    - イ 学校の概要 ⇒「学校案内」パンフレット 参照  
○東部本校と分校の関係  
○伊東分校と伊豆高原分校の関係  
○分校設置以来のあゆみについて
    - ウ 令和5年度学校移転について  
○4年度末で西小閉校、東小校地に移転統合、伊東分校は旭小校地に移動  
○但し、令和5年度に入ってから改修工事になるので、移転は年度途中になる。  
○それまでは、現校地を使用することになる。
  - (2) 令和4年度学校経営計画（別紙 学校経営計画書）
    - ア 学校経営計画（副校長） ⇒「学校経営書」参照  
○主に重点項目を説明  
○その他に「つなぐ」地域および併置校との関係の部分を加えて説明
    - イ 各学部の経営（部主事）  
○各学部から本年度の計画の概要を説明
  - (3) 学校運営協議会の役割等について（副校長）
  - (4) 教職員のコンプライアンス（法令順守）の取組について（副校長）  
○コンプライアンス研修計画を提示
  - (5) 質疑応答、意見聴取 ←より良い伊東分校になるため これからの伊東分校のため
    - 地域との交流について
      - ・湯の花商店会では、七夕その他で交流を行っている。コロナ禍で直接的な交流が限られるため、商店街でも、直接関わる関係者しか様子が分からない状況が続いている。七夕等の行事以外でも、もっと日常的な関わりがもてるとよい。
      - ・分校に通学している自分の子供が休日に湯の花で買い物をした時に親切に対応してもらった。日頃からの関わりあつての賜物だと思う。旭小移転後、遠くなくても、この関係を維持していきたい。

- ・これまでの商店街との関わりを続けていくと共に、移転を逆に機会ととらえて、旭小周辺の町内との関わりを新たに拓いていくことも大切だ。
- ・子供たちは、地域で生まれ、多くが地域で生涯を送ることになる。地域で一緒に生活できる社会を作ることがなにより重要だ。交流はそれを考えて進めていくべき。
- ・若いころ、自身が「信楽青年寮」を訪ね、故池田太郎先生から教えてもらった「映え合いの教育」という言葉を思い出す。障害のある人とそうでない人とが、共に暮らし互いに関わりあうことで、互いの映え合いによって、地域が変わっていくと信じたい。

#### ■教育/福祉の継続性

- ・小学部低学年を見ていて、往時より落ち着いて学習していると感じる。市内の児童発達支援事業所である「さくら園」などからあがってきている児童が多いと思われるが、そこからの積み重ねがあつてのことだと思う。
- ・コロナ禍で、仕事で学校を訪ねる機会があつても、児童生徒と触れ合ったり、つぶさに生活の様子をうかがったりすることができなかつた。今日はとても良かった。児童発達支援事業所⇒学校⇒地域という、継続した流れがしっかり構築されることが望ましい。



(閉 会) 11 : 30

次回 第2回学校評議委員予定 12月3日(土) 10:00~12:00

- ・校長あいさつ
- ・ファミリー参観日の様子案内
- ・学校経営前期の取り組み報告
- ・学校運営についての協議
  - 第1回協議の中心となった話題を深める
    - 校地移転を受けて地域との連携をどう進めるか
    - 幼児期から学齢期、社会へのつながり強化について
- ・コンプライアンスについて